

招待講演

デジタル・ヒューマニティーズ：情報技術の
新たな展開

八村広三郎[†]

人文科学へのコンピュータの導入は必ずしも新しい話題ではなく、コンピュータの発明とほぼ同時期から応用が始まっているといわれている。しかしながら、相変わらず人文科学はコンピュータとは遠い存在であるとの認識が、少なくとも日本では一般的である。ところが、21世紀に入って、欧米を中心としてデジタル・ヒューマニティーズと呼ばれる学問領域が突然出現している。日本ではこのコンセプトはまだあまり知られていないが、これは、ネット時代の現代社会における人文系研究活動の在り方として、大きな示唆を与えるものである。本講演では、このデジタル・ヒューマニティーズの考え方と現状を紹介する。

[†]立命館大学